

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外 Paget 病	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>Extramammary Paget's disease: role of radiation therapy</b>	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	P C Q 1 3-8	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( V )	
	Pubmed ID	12060165	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Australas Radiol	
	雑誌 ID		
	巻	46	
	号	2	
	ページ	204-8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2002 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Guerrieri M	Newcastle Mater Misericordiae 病院
その他著者 1		Back MF	同上
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	乳房外 Paget 病の放射線療法の意義を検討する。	
	研究デザイン	症例報告	
	セッティング	Newcastle Mater Misericordiae 病院	
	対象者	77 歳男性 腋窩に病変（潰瘍形成を伴う、80 x 50 15 mm）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (2)	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (1)	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (5)	
	介入（要因曝露）	放射線療法：4MV X 線、60 Gy/30 回、主腫瘍に 2 cm のマージンをつけて照射し、追加照射として 12MeV の電子線で 10 Gy/5 回追加。照射後、タモキシフェン内服。	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	局所制御	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	2	臨床経過	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
主な結果	腫瘍は消失し、1 年経過するも再発なし。		
結論	手術不能例や機能面を考慮し手術が望ましくない症例では根治的放射線療法は有用である。		
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間 直人	
	レビューワーコメント	症例報告ではあるが、考察で良くまとめたレビューをしている (Table 1)。レベル V	

